

# 喜び与える仕事を

今月から11月まで約半年間、岩手県内で商業施設の建設工事に加わる。

入社して1カ月余り。初めての本格的な現場に

不安の方が大きいけど、

大山 恭平さん(20)

|| 大森建設、能代市大内田、能代工高理数工学科卒 ||



先輩の仕事を見て、聞いて、覚えていきたい」と表

情を引き締める。

高校卒業後、大館市の秋田職能短大の住居環境科で建築を学んだ。建設業を志したのは「人に喜んでもらえる仕事だと思

った」から。建物を造るだけでなく、港湾や道路といった地域の暮らしを支える社会基盤の整備・維

持など、業界の役割は大きい。「経験を積んで地域に貢献したい」と語る。

高校、短大時代は「将来は県外で働くのもいいかな」と考えていた。地元就職したのは、大館市で暮らした2年間で、故郷への愛着を再認識したから。「家族や親しい人たちがいて、穏やかに暮らせる地元で頑張りたいと思

った」と話す。「岩手の現場に派遣される新入社員は自分一人。緊張するけど、頑張るだけ」と力を込める。

持など、業界の役割は大きい。「経験を積んで地域に貢献したい」と語る。

高校、短大時代は「将来は県外で働くのもいいかな」と考えていた。地元就職したのは、大館市で暮らした2年間で、故郷への愛着を再認識したから。「家族や親しい人たちがいて、穏やかに暮らせる地元で頑張りたいと思

った」と話す。「岩手の現場に派遣される新入社員は自分一人。緊張するけど、頑張るだけ」と力を込める。